資料５

第８回及び第９回会議でいただいた主な御意見

１　第２期戦略（素案）に反映している御意見

【SDGs】

○　取り残されてしまう人がいなくなる環境づくりが必要（第８回）

○　SDGs については経済界でも積極的に取り組むようになってきている（第８回）

⇒

P.31

２　まち・ひと・しごと創生に向けた考え方

（６）新しい時代の流れへの対応

（略）

持続可能な開発目標（SDGs）は、世界全体の経済、社会及び環境の三側面における持続可能な開発を総合的取組として推進するものである。17 の目標を追求することは、地域における諸課題の解決に貢献し、地域の持続可能な開発、すなわち地方創生を推進することにつながる。

この戦略では、SDGs の「誰一人取り残さない」という理念を共有し、戦略を推進することにより、持続可能な社会の実現を目指していく。

【Society5.0】

○　Society5.0 をうまく活用していけばよいのでは（第９回）

○　AI・ロボット、外国人材、高齢者といった多様な技術・人を活用すると良いのではないか（第８回）

⇒

> P.31
>
> ２　まち・ひと・しごと創生に向けた考え方
>
> （６）新しい時代の流れへの対応
>
> 様々な分野においてAI、IoT、ロボット、自動運転などSociety5.0 の実現に向けた先進技術を取り入れ、社会課題の解決と生産性･利便性の向上による経済的発展等を図っていく。これにより地域の魅力を高め、人を呼ぶ好循環を生み出していく。
>
> P.39～40
>
> 基本目標１　県内における安定した雇用を創出する
>
> 【主な施策】
>
> ③次世代産業・先端産業の振興、農林業の振興
>
> ・先端産業創造プロジェクトの推進
>
> ・農業大学校跡地等を活用した先端産業等の集積促進
>
> ・ICT など新たな技術の農林業分野への普及拡大

【多様な主体との連携】

○　様々なステークホルダーとの連携が重要（第９回）

○　大学の持つ人的資産の有効活用をしてはいかがか（第８回）

⇒

> P.30
>
> ２　まち・ひと・しごと創生に向けた考え方
>
> （５）多様な主体との連携
>
> （略）地域の総合力を最大限発揮できるよう、県議会をはじめ、産業界、大学、金融機関、労働団体、言論界、ＮＰＯ、各種団体など多様な主体の知見を活用するとともに、連携により取組を推進していく。

【高齢者の活躍支援】

○　AI・ロボット、外国人材、高齢者といった多様な技術・人を活用すると良いのではないか（第８回）

○　パワーある高齢者が主役となれる仕組みづくりをしてほしい（第８回）

○　退職者世代の有効活用をしてほしい。埼玉県は全国に冠たる資源を持っているのではと思う（第８回）

○　高齢者の労働力を生かすことが重要（第９回）

○　高齢者が働きやすいような指標を加えた方がよいのではないか（第９回）

⇒ P. 39
基本目標１　県内における安定した雇用を創出する
【主な施策】
②高齢者等の就業支援と雇用の拡大

【産業振興による地域活性化】

○　小規模企業への支援や起業支援は地域に働き口を確保するという観点から人口減少対策にもつながるのではないか（第８回）

⇒ P. 40
基本目標１　県内における安定した雇用を創出する
【主な施策】
④県内中小企業の支援、サービス産業の振興

○　地元にお金を落とすというローカルファーストの考えが地域活性化につながる（第８回）

⇒ P. 40
基本目標１　県内における安定した雇用を創出する
【主な施策】
④県内中小企業の支援、サービス産業の振興
・商店街の振興と活性化支援

【観光振興による地域活性化】

〇　インバウンド対策として「酒どころ」が非常にPRとなるのではないか（第８回）

〇　インバウンド対策のためにSAITAMAプラチナルートといったプレイスブランディングだけでなく、例えば幕末をテーマにしたツアーなどソフト面的なPRをしても良いのでは（第８回）

⇒

P.40

基本目標１　県内における安定した雇用を創出する

【主な施策】

④県内中小企業の支援、サービス産業の振興

・外国人観光客の来訪促進や受入体制の充実

〇　人が集まる場所・人を呼べる場所となるためには、各地域の歴史や文化、個性を生かしたまちづくりが必要（第８回）

〇　渋沢栄一を大々的にPRしてみてはいかがか（第８回）

⇒

P.44

基本目標２　県内への新しいひとの流れをつくる

【主な施策】

④埼玉県の魅力発信と観光の推進

・戦略的な広報による国内外への埼玉の魅力発信

・グルメ・アニメ・歴史・文化芸術・産業などの地域資源を活用した多彩な体験型観光づくり

【地元愛の醸成】

〇　埼玉はあまり良いイメージが無いのでは。いかに地元に愛着を持ってもらうかが重要（第８回）

⇒

P.44

基本目標２　県内への新しいひとの流れをつくる

【主な施策】

③<u>教育の充実と地域連携の推進</u>

④埼玉県の魅力発信と観光の推進

・<u>伝統と文化を尊重する教育の推進</u>

【関係人口の活用】

〇　県内の人の流れを上手く捉えて関係人口を活用してはいかがか（第９回）

⇒

P.45

基本目標２　県内への新しいひとの流れをつくる

【主な施策】

⑤移住の促進

・<u>関係人口の創出・拡大の取組の支援</u>

【結婚・子育て支援】

〇　地域で安心して子育てができる仕事の環境が必要（第９回）

⇒

P. 39

基本目標１　県内における安定した雇用を創出する

【主な施策】

①女性がいきいきと輝く社会の構築

・子育て期などにおける短時間勤務制度など多様な働き方の普及

・保育所、企業内保育所などの整備促進

P. 47～48

基本目標３　県民の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

【主な施策】

②子育て支援の充実

・保育所、企業内保育所などの整備促進

③ワークライフバランスの推進

〇　結婚支援は重要（第８回）

⇒

P. 47

基本目標３　県民の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

【主な施策】

①結婚・出産への支援

・結婚を希望する未婚者への出会いの機会提供支援

〇　次代を担うのは子供達であり、子供達を健全に育てることが重要（第８回）

〇　子育ては血縁に関わらず、みんな（地域）で行うことが重要（第８回）

〇　子育てにはなるべく多くの大人が関わった方が良い（第８回）

〇　保育所受入枠や保育士の確保の目標は全てクリアしているが、待機児童の問題はある。KPI の達成水準をよく考える必要があるのではないか（第９回）

○　保育所受入枠等が何人増加したというのはあるが、必要枠がどれくらいということで評価した方がよいのではないか（第９回）

⇒ P. 47～48

基本目標３　県民の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

【主な施策】

②子育て支援の充実

【暮らしやすいまちづくり・地域づくり】

○　高齢者が町に出て買い物をするために既存の交通インフラや商店街・空き店舗の有効活用により地域の活性化をしてほしい（第８回）

⇒ P. 52

基本目標４　時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守る

【主な施策】

③誰もが快適で暮らしやすいまちづくり

○　地域の人をただ知るのではなく、商売につながるような有益な情報があれば良い循環が生まれる（第８回）

○　各地域の取組や団体をつなげる仕組みづくりをしてほしい（第８回）

○　地域における人と人との関わり合いがやはり重要。多世代の人が関われると尚良い（第８回）

⇒ P. 52

基本目標４　時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守る

【主な施策】

④共助社会づくりと地域連携の推進

【外国人材の受入れに伴う共生社会の実現】

○　AI・ロボット、外国人材、高齢者といった多様な技術・人を活用すると良いのではないか（第８回）

⇒ P.52

基本目標４　時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守る

【主な施策】

④共助社会づくりと地域連携の推進

- 外国人住民の地域活動の参加促進
- 外国人の日本語学習及び日本文化理解の促進

２　事業推進に当たり参考とする御意見等

○　総合戦略を考える上で、住民のニーズ把握と地域の特色発揮が重要（第８回）

⇒「県民満足度調査」を活用し、県政に対する県民のニーズ把握を実施しています。また、地域の特色発揮については産業、観光、移住など様々な観点で常に意識をおいて取組を進めていきたいと考えています。

○　（働く高齢者が増加していることを踏まえると）各種統計データに 65 歳から 70 歳までの区分を加えるとより参考になるのではないか（第８回）

⇒生産年齢人口の区分が「15 歳から 65 歳未満」となっていることを踏まえ、第２期戦略（素案）の各種統計データは従前のままとしました。ただし、施策や取組の実施に際しては、頂いた御意見の観点からの検討も必要と考えます。

○　高齢者による自動車事故が話題になっていることを踏まえると、自動ブレーキ付き車両限定免許など新しい免許区分が必要ではないか（第８回）

⇒国では高齢者専用の運転免許区分（安全機能付き車両のみ運転可能など）を創設することを検討中です。

○　AI がもたらす未来では働く場所が無くなってしまうのではないか（第８回）

○　AI の台頭により生まれる働きたくない人・働けない人への対応が必要。そのために、ひきこもりの研究をしてみるのも良いのではないか。（第８回）

⇒AI についてはSociety5.0を実現するための一手段として重要視されています。第２期国戦略では「新しい時代の流れを力にする」という横断的な目標の施策として、「地域における Soceity5.0 の推進」が位置付けられる予定です。これを受け、本県の第２期戦略においても、まち・ひと・しごと創生に向けた考え方として Soceity5.0 を位置付けることで検討しています。Society5.0（AI）が社会・経済にもたらす影響はメリット、デメリット含めて注視していく必要があると考えます。